

財団「指導普及部会」委員による “ニューディスク・コンサート”を教材に その1

②『ヴェルビエ音楽祭&アカデミーの10周年 記念コンサート PIANO EXTRAVAGANZA』 (BVBC 3101)

東京都世田谷区立松沢小学校教諭 大湊 勝弘



DVDソフトが、この『ヴェルビエ音楽祭&アカデミーの10周年記念コンサート PIANO EXTRAVAGANZA [ピアノ狂想曲]』。本誌平成16年10月号の「ニューディスク・コンサート」(p.57)で諸石幸生氏が紹介されたものです。

これは、スイスで毎年開催されるヴェルビエ音楽祭&アカデミーが10周年を迎え、その記念のイベントとして企画されたもので、世界の一流のピアニスト、弦楽器奏者が一堂に会した演奏会の様子を収録したものです。

②

「女帝」アルゲリッチ、「若き巨匠」キーシンの2人が奏でる華やかで且つ美しい調べのモーツァルト。そのみごとな共演が鮮やかな映像として収められている

モーツァルトをはじめバッハ、ワーグナー、スメタナなどの作曲家の他、吹奏楽で名高いスーザ、またライトミュージックのベンジャミンなどの作品を集めて、奏でられる調べ。特徴的なのは、何といっても8台にもよるピアノの饗宴です。連弾や2台のピアノの演奏はよく耳にしますが、このように8台ものピアノを同時に使った演奏は、最初で最後かもしれません。

冒頭に演奏されるモーツァルトの『4手のためのソナタ ハ長調』。アルゲリッチとキーシンは親子ほど年齢が離れているようにも見え、母親が子どもを温かい愛情とともに厳粛なまなざしで包み込むような場面。それでいて2人とも子ども心を楽しむかのようにも感じさせる表現など、偉大な音楽家が紡ぎ出すピアノの音色は極上のシルクの手触りさえ感じさせます。

カメラはピアノの上部から、前後左右、鍵盤の下からなど、ありとあらゆる角度から余すことなくとらえており、互いの呼吸を確かめる様や繊細で軽やかなタッチ、その一方で情熱をぶつけるような激

しい指の動きが印象的です。

＊

授業展開例（小学校）としては、楽器としてのピアノの演奏をまるごと味わうのはもちろんのこと、目をつぶって、何人で演奏しているのかな？ どのような表現の仕方音楽をつくっているのだろうか？ 互いの息の合ったアンサンブルの効果は？ など、ピアノ音楽による芸術表現そのものを味わうようにするのに適していると考えます。

また、ステージ狭しと並べられた8台のピアノによる『くまばちは飛ぶ』（リムスキー・コルサコフ）の演奏も楽しめます。よく耳にするのはオーケストラや、弦楽器や管楽器など単独の楽器での演奏ですが、このような多くのピアノで演奏することは稀であり、まるでハチ同士が競い合っているようにも聞こえる音の洪水は、一聴する価値が大いにあるでしょう。

互いの音と呼吸を確かめ合いながらの演奏には、これまでの単独のピアノ演奏とは異なった新たな世界が広がっています。